

西海ブロック水産研究及び水産業情報（県水産試験場等）

No. 63 平成21年1月（平成20年10月～12月分）

西海区水産研究所

		水産資源関係	水産海洋・漁場環境保全関係	水産増養殖関係	その他（水産利用加工、水産経済関係、災害等）
水産業の動向	山口県	*ヨコワ（クロマグロ幼魚）好漁。マアジ、いわし類、ケンサキイカ漁は平年並み。南風泊市場における外海産トラフグの水揚げ低調、韓国からの輸入魚増加。	*萩沖の表層水温は平年より1～2℃高めで推移。エチゼンクラゲの定置網への入網無し。	*特になし	*特になし
	福岡県	*筑前海： まき網：マアジが平年よりかなり少なく、ブリ（若齢魚）中心の漁獲 2そうごち網：カワハギ主体の漁獲 いか釣：ケンサキイカが平年並みまで回復 *有明海： アサリ：平年並み。 サルボウ：資源量多いが販売不振のため漁獲量少ない ガザミ：通常11月で終漁となるかにかご漁が10数年ぶりに12月に入っても操業されている シバエビ：好漁 クルマエビ：不漁 干潟タイラギ漁：好漁 潜水器タイラギ漁：12月21日から解禁 *豊前海： ・ヨシエビ、クルマエビは好調 ・カレイ類、シャコは不漁 *内水面： 筑後川：テナガエビは昨年よりはとれている。モクズカニ漁は不漁。オイカワは昨年よりは多い。 矢部川：オイカワ・コイは例年並。モクズガニは少ない。	*筑前海： 水温 塩分 10月 平年並み やや低め 11月 高め 低め 12月 高め 低め *有明海： 水温：ノリの採苗後1週間の水温は23℃台と高めで推移したが、以降は平年並みからやや高めで推移 比重：平年並み 栄養塩：10マイク以上で推移 プランクトン：少ない状況で推移 赤潮：発生なし *豊前海： ・水温は10～11月の表層・底層でやや高め12月は平年並みで推移した。 ・赤潮の発生 9/26～10/9 ゴニオラックス ポリグラマ	*筑前海： カキ養殖業：生育は順調 ワカメ養殖業：生育は順調 *有明海： <ノリ養殖経過> 採苗：10月17日 冷凍網入庫：11月10～15日 ・11月15日に摘採開始、17日から本格化。 ・秋芽網の撤去は12月25日までに、冷凍網の出庫は1月4日予定。 <共販の状況> ・第3回共販までの累計は、 枚数 4,7250万枚 (前年比105%) 金額 41.1193億円(同84%) 単価 8.72円(同2.20円安) *豊前海： ・カキ養殖は一部漁場で例年以上のへい死身入りは順調 ・ノリ養殖は順調	*特になし
	佐賀県	*玄海： ・玄海漁連市場への水揚げは、マダイ、シロギス、オニオコゼは平年（H15～19平均）を上回った。ケンサキイカ、コウイカ、スルメイカ、クロダイ、クルマエビ、カニ類は、平年を下回った。 *有明： ・タイラギは立ち枯れ斃死が10月下旬に再発した。タイラギ潜水器漁業は12月21日に解禁（時化のため12月23日に開始）され、12月30日までに約200kg（貝柱）の漁獲があった。 ・タイラギ稚貝の発生状況は、例年と違い東部海域で少なく、近年生息がほとんどみられていなかった西部海域で多くみられている。シバエビは12月に近年になく豊漁（投網で1日1隻最大で500kgの漁獲）。シラタエビは12月に近年になく豊漁（アンコウ網で1日1隻2～3tの漁獲）。ガザミは10月は近年になく豊漁。	*玄海： ・壱岐水道、対馬東水道の水温は、10月は平年並、11月はやや高め～かなり高め、12月は平年並～やや高めで推移した。 ・12月藻場調査（馬渡島、小川島でアイゴと思われる食害を確認）。 *有明： ・水温は、平年と比べ10月中旬～11月上旬は高め、11月中旬～12月上旬は低めに推移。比重は平年並みに推移。降水量は平年と比べ8割程度であったが、栄養塩は高めに推移し、プランクトンの出現は少なめで推移。エチゼンクラゲは発見されなかった。	*有明： ・垂下式養殖カキが豊作。 ・ノリ養殖は、10月15日から採苗開始（水温22.9、比重22.7）。採苗後、10月下旬までは水温は平年より高く横ばい傾向。 ・アカグサレ病を11月10日、壺状菌病を11月11日、いずれも東部漁場で初認。 ・秋芽網期（12月末現在） 共販枚数 713,514千枚 共販金額 7,108,839千円	*特になし

西海ブロック水産研究及び水産業情報（県水産試験場等）

No. 63 平成21年1月（平成20年10月～12月分）

西海区水産研究所

		水産資源関係	水産海洋・漁場環境保全関係	水産増養殖関係	その他（水産利用加工、水産経済関係、災害等）																												
水産業の動向	長崎県	*特になし	*特になし	*特になし	*特になし																												
	熊本県	<p>*有明海沿岸の干潟域でのアサリ漁獲について（1～12月）： 聞き取り調査によると、3,673トンの漁獲があっているが、前年同時期の4,301トンと比較して85.4%となり前年より少なめ。 *天草漁協牛深総合支所後浜新港に水揚げされた中型まき網漁業のアジ・サバ・イワシ類の漁獲量（10～12月）は前年同期（501.4t）及び前年同期*（633.8t）とも上回った。 *H15～H19年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>漁獲量</th> <th>前年比</th> <th>平年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マアジ</td> <td>157.8t</td> <td>125.4%</td> <td>133.8%</td> </tr> <tr> <td>サバ類</td> <td>529.1t</td> <td>1149.5%</td> <td>243.2%</td> </tr> <tr> <td>マイワシ</td> <td>0.2t</td> <td>0.5%</td> <td>2.3%</td> </tr> <tr> <td>カタクチ</td> <td>3.3t</td> <td>1.4%</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>ウルメ</td> <td>112.9t</td> <td>179.3%</td> <td>92.7%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>803.3t</td> <td>160.2%</td> <td>126.7%</td> </tr> </tbody> </table>	魚種	漁獲量	前年比	平年比	マアジ	157.8t	125.4%	133.8%	サバ類	529.1t	1149.5%	243.2%	マイワシ	0.2t	0.5%	2.3%	カタクチ	3.3t	1.4%	1.9%	ウルメ	112.9t	179.3%	92.7%	全体	803.3t	160.2%	126.7%	<p>*海況（10～12月） 水温：有明海、八代海ともにやや低めから平年並み。 塩分：有明海、八代海ともにやや低めから平年並み。 *赤潮発生状況（：以降は期間） ・有明海：発生なし ・八代海： 1 <i>Chaetoceros</i> spp.、<i>Skeletonema costatum</i>、<i>Gyrodinium instriatum</i>：10/21～23 2 <i>Mesodinium rubrum</i>：12/8～10 ・天草海：発生なし</p>	<p>*クルマエビ養殖においてPAVが2カ所で発生した。 *ノリ養殖は、高水温の影響などから10月15日以降の採苗開始となり、10月21日までに概ね順調に終了した。育苗期は順調な水温低下が見られなかったことなどから、形態異常や基部の脆弱な葉体が目立ち、生産への影響が認められた。12月31日現在の入札結果は、県合計で生産枚数は2億1,343万200枚（前年同期比62.9%）、生産金額は21億2,135万6,380円（前年同期比59.8%）、平均単価は9.94円/枚で前年比95.1%と大きく低下した。</p>	*特になし
	魚種	漁獲量	前年比	平年比																													
	マアジ	157.8t	125.4%	133.8%																													
	サバ類	529.1t	1149.5%	243.2%																													
マイワシ	0.2t	0.5%	2.3%																														
カタクチ	3.3t	1.4%	1.9%																														
ウルメ	112.9t	179.3%	92.7%																														
全体	803.3t	160.2%	126.7%																														
大分県	<p>*豊後水道旋網ではカタクチイワシ、ウルメイワシ、マアジが不漁、一本釣りではゴマサバが好漁、トラフグが不漁。</p>	<p>*豊前海水温10月表層「平年並」、底層「やや高め」。11月は「やや高め」、12月は「平年並」。 *豊後水道水温は「平年並み」から「やや高め」 *<i>A. cattenella</i>が12月に増殖し養殖ヒオウギが毒化、12/25より出荷自粛。</p>	*特になし	*特になし																													
宮崎県	<p>*まき網（主要港）： 総漁獲前年比 10月 41% 11月 46%（速報値） 12月 14%（速報値） 10～12月 36% 魚種別年間前年比 10～12月 マイワシ 約2割 漁無し ウルメ 約6割 低調 カタクチ 約2割 低調 マアジ 約7割 低調 サバ類 前年並 9月中心に好漁 *船曳網： 1～11月前年比 86% 10～11月同 80%</p>	<p>*日向灘沿岸定線調査結果： 表面水温 表面塩分 10月 平年並み 著しく低め 11月 平年並み 著しく低め 12月 平年並み やや低め</p>	*特になし	*特になし																													
鹿児島県	<p>*主要4港のまき網水揚調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>魚種</th> <th>前年比</th> <th>平年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マアジ</td> <td>130%</td> <td>103%</td> </tr> <tr> <td>サバ類</td> <td>170</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>ウルメイワシ</td> <td>28</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>カタクチイワシ</td> <td>5</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>ムロアジ類</td> <td>66</td> <td>92</td> </tr> </tbody> </table>	魚種	前年比	平年比	マアジ	130%	103%	サバ類	170	98	ウルメイワシ	28	118	カタクチイワシ	5	9	ムロアジ類	66	92	*特になし	*特になし	*特になし											
魚種	前年比	平年比																															
マアジ	130%	103%																															
サバ類	170	98																															
ウルメイワシ	28	118																															
カタクチイワシ	5	9																															
ムロアジ類	66	92																															

西海ブロック水産研究及び水産業情報（県水産試験場等）

№. 63 平成21年1月（平成20年10月～12月分）

西海区水産研究所

		水産資源関係	水産海洋・漁場環境保全関係	水産増養殖関係	その他（水産利用加工、水産経済関係、災害等）
水産業の動向	鹿児島県	＊マアジ、サバ類は、前年以上の水揚げで好調。サバ類は、TAC割り当て、8,000tから17,000tに修正。好調であったウルメイワシは前年を大きく下回ったが、平年より上回る。カタクチイワシは、前年、平年を大きく下回り極端に不漁。ムロアジ類も前年、平年を下回る。 ＊ブリ飼付け漁業が好調。 ＊バショウカジキ漁は、西薩海域は低調であったが、屋久島近海は旗流し漁で好調。			
	沖縄県	＊特になし	＊特になし	＊特になし	＊特になし
その他 （国への要望等）					＊玄海：ケンサキイカシンポジウム開催（11月25日：唐津市）、九州・山口ブロックアワビ研究会開催（12月8～9日：唐津市）（佐賀県）